

25.3期 第3四半期 決算補足説明資料

2025年2月7日



25.3期 第3四半期決算 連結損益

- **受注高**は、水環境事業の国内水エンジニアリング事業統合効果(2Qまで)および、両事業での大型案件の獲得により、**増加** (**3Q時点の受注高、受注残高、売上高、営業利益、経常利益は過去最高**)
- **売上高**は、両事業の案件が順調に推移し、**増収**
- **営業利益**は、両事業の増収効果が大きく、販管費増加を上回り、**増益**
- **四半期純利益**は、上記の理由で**増益**
→ **これら業績を踏まえ、25.3期通期業績予想を上方修正、増配** (後述)

| 【単位：億円】 | 24.3期 第3四半期 実績 | 25.3期 第3四半期 実績 | 前期比 |
|----------------------|-------------------|-------------------|-------|
| 受注高 | 1,078 | 1,333 | +255 |
| 受注残高 | 2,730 | 3,220 | +490 |
| 売上高 | 690 | 867 | +177 |
| 営業利益 | 8 | 30 | +22 |
| 営業利益率 | 1.2% | 3.4% | +2.2% |
| 経常利益 | 18 | 41 | +23 |
| 親会社株主に 帰属する四半期純利益 | 15 | 21 | +6 |
| EBITDA | 35 | 58 | +23 |

25.3期 第3四半期決算 連結損益（受注高、売上高）

その他：物流設備など不動産管理、賃借などに関するセグメント

受注高

【水環境事業】

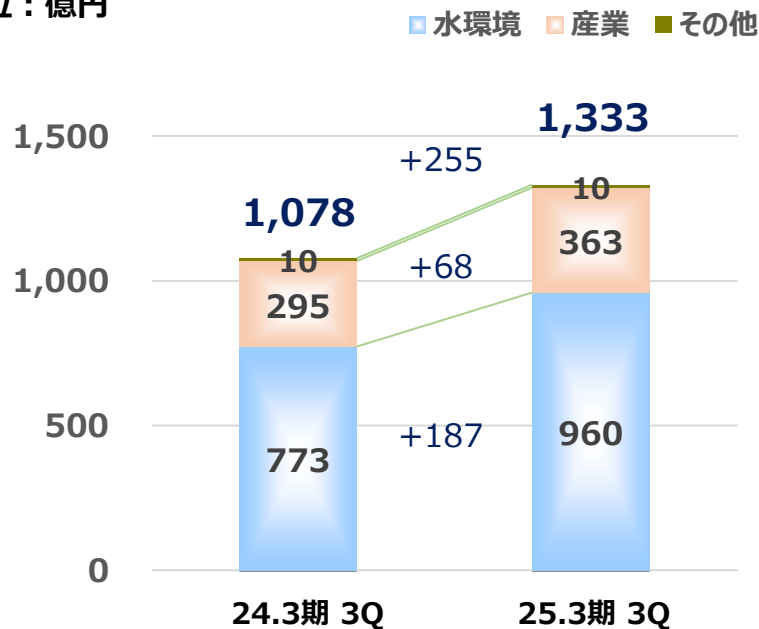
2QまでのJFEエンジニアリング(株)との事業統合(※1)に加え、官民連携事業などの大型案件を順調に獲得し、増加

【産業事業】

環境での大型案件の受注(2Q)に加え、化学会社向けEPC案件、排ガス処理案件などを獲得し、増加

※なお、受注済の大型案件が物価上昇でキャンセルとなった影響をマイナス受注として反映済

単位：億円



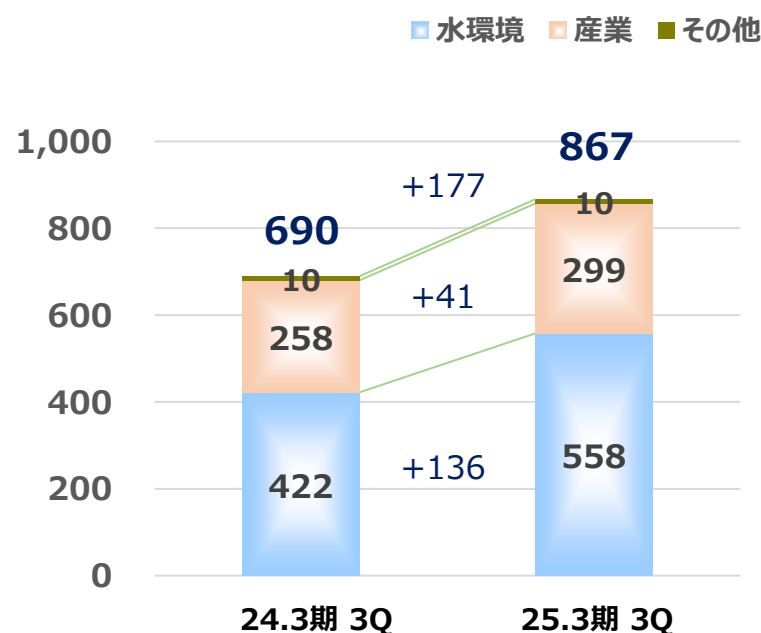
売上高

【水環境事業】

豊富な受注済みEPC案件、アフターサービス案件が進捗し、増収

【産業事業】

国内外における受注済み案件の進捗により、増収



※1 2023年10月1日付 JFEエンジニアリング(株)の国内水エンジニアリング事業を統合

25.3期 第3四半期決算 連結損益（営業利益）

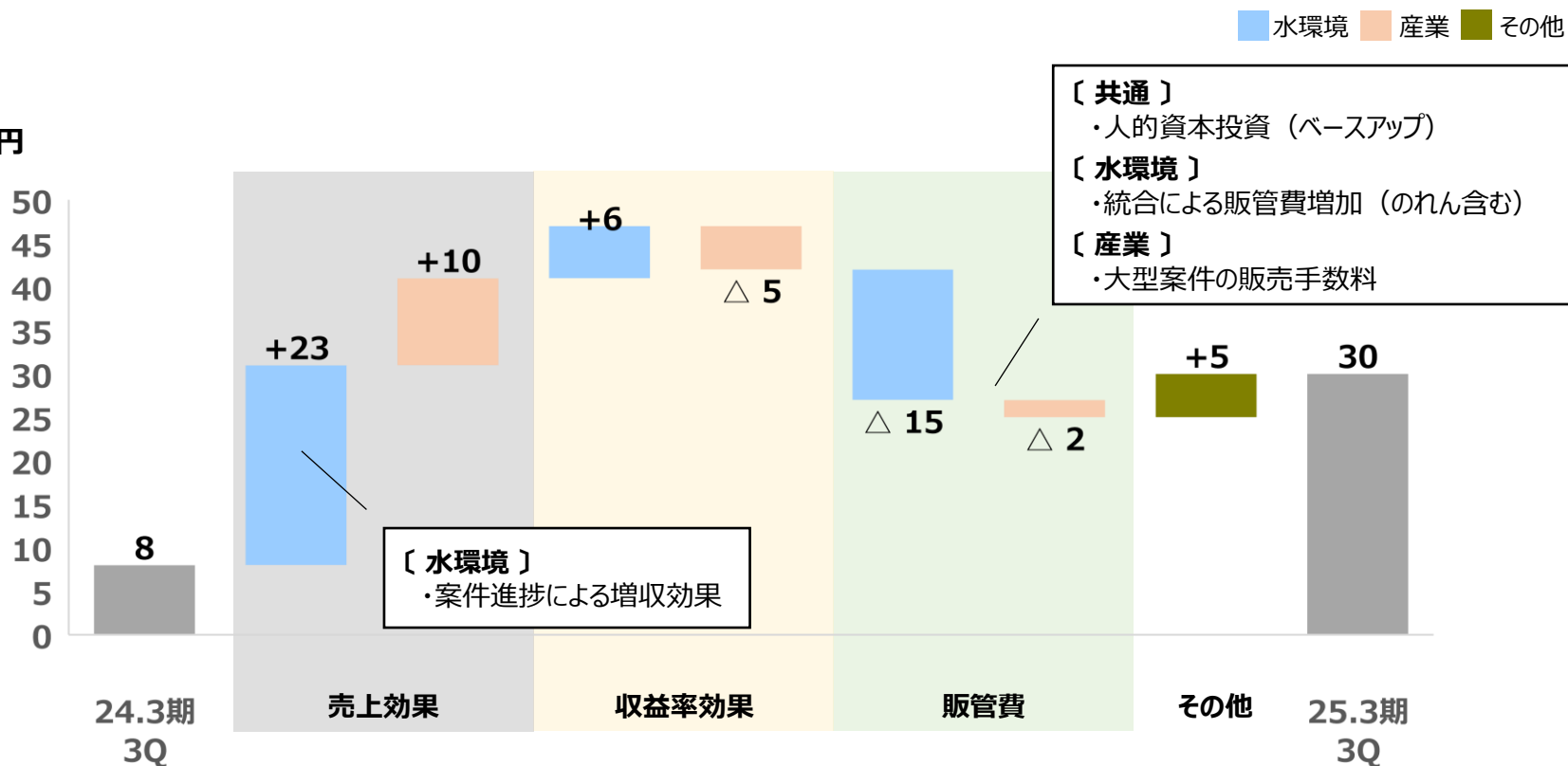
営業利益

【水環境事業】 増収効果が大きく寄与し、収益率も改善。販管費増加を上回り、増益

【産業事業】 案件構成差による収益率低下の影響あるも、増収効果により、増益

【その他】 前期物流施設の不動産取得税の解消により、増益

単位：億円



25.3期決算 業績見通し

- **受注高、売上高、営業利益** は、好調な受注および豊富な受注残高の進捗を考慮し、何れも**期初より上方修正**
- **当期純利益**が増益予想であることから、配当を期初公表から **今回8円増配**し、**60円/株**とする
(前期比で**+18円/株の増配** (予定))

| 【単位：億円】 | 24.3期 実績 | 25.3期 期初予想 | 25.3期 予想 | 前期比 |
|---------------------|----------|------------|--------------------|-------|
| 受注高 | 1,653 | 1,580 | 1,700 | +47 |
| 売上高 | 1,242 | 1,300 | 1,400 (3Qで上方修正) | +158 |
| 営業利益 | 68 | 70 | 77 (3Qで上方修正) | +9 |
| 営業利益率 | 5.4% | 5.4% | 5.5% | +0.1% |
| 親会社株主に 帰属する当期純利益 | 27 | 44 | 51 (3Qで上方修正) | +24 |
| EBITDA | 104 | 106 | 115 | +11 |
| ROIC | 4.2% | 約4% | 4%半ば | — |
| ROE | 3.2% | 約5% | 5%半ば | — |

25.3期決算 業績見通し

受注高

【全体】 中間公表で上方修正済
(内訳は最新情報を反映)

【水環境事業】

水インフラの更新需要は好調、複数の大型案件の受注を獲得し、横ばい

【産業事業】

環境および産業インフラにおけるEPC案件の獲得、および単体機器の受注も好調で、増加

売上高

【全体】 期首公表値を
3Qで上方修正

【水環境事業】

大型案件の進捗が遅れる傾向にあるも、豊富な受注案件が進捗し、上方修正
(期首より +85億円)

【産業事業】

案件の順調な進捗により、上方修正
(期首より +15億円)

営業利益

【全体】 期首公表値を
3Qで上方修正

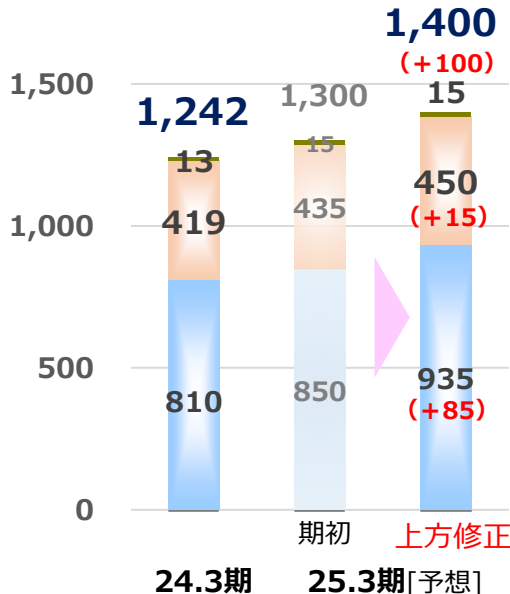
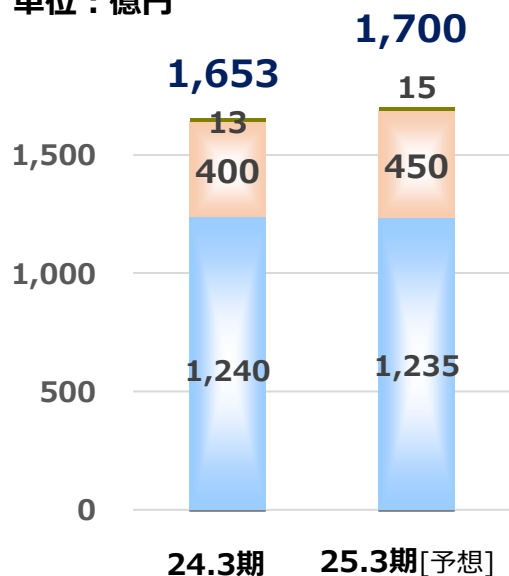
【水環境事業】

増収効果により、上方修正
(期首より +3億円)

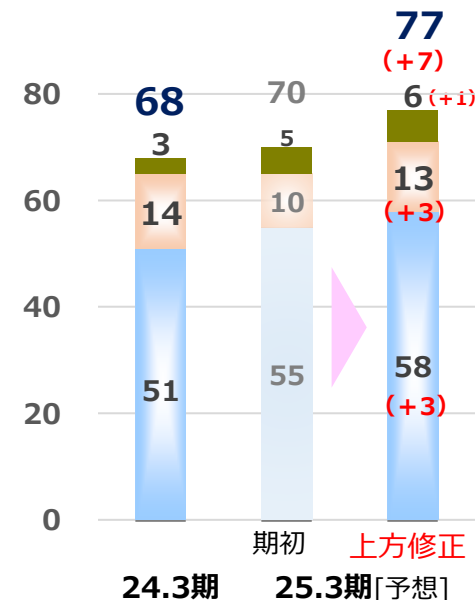
【産業事業】

増収効果により、上方修正
(期首より +3億円)

単位：億円

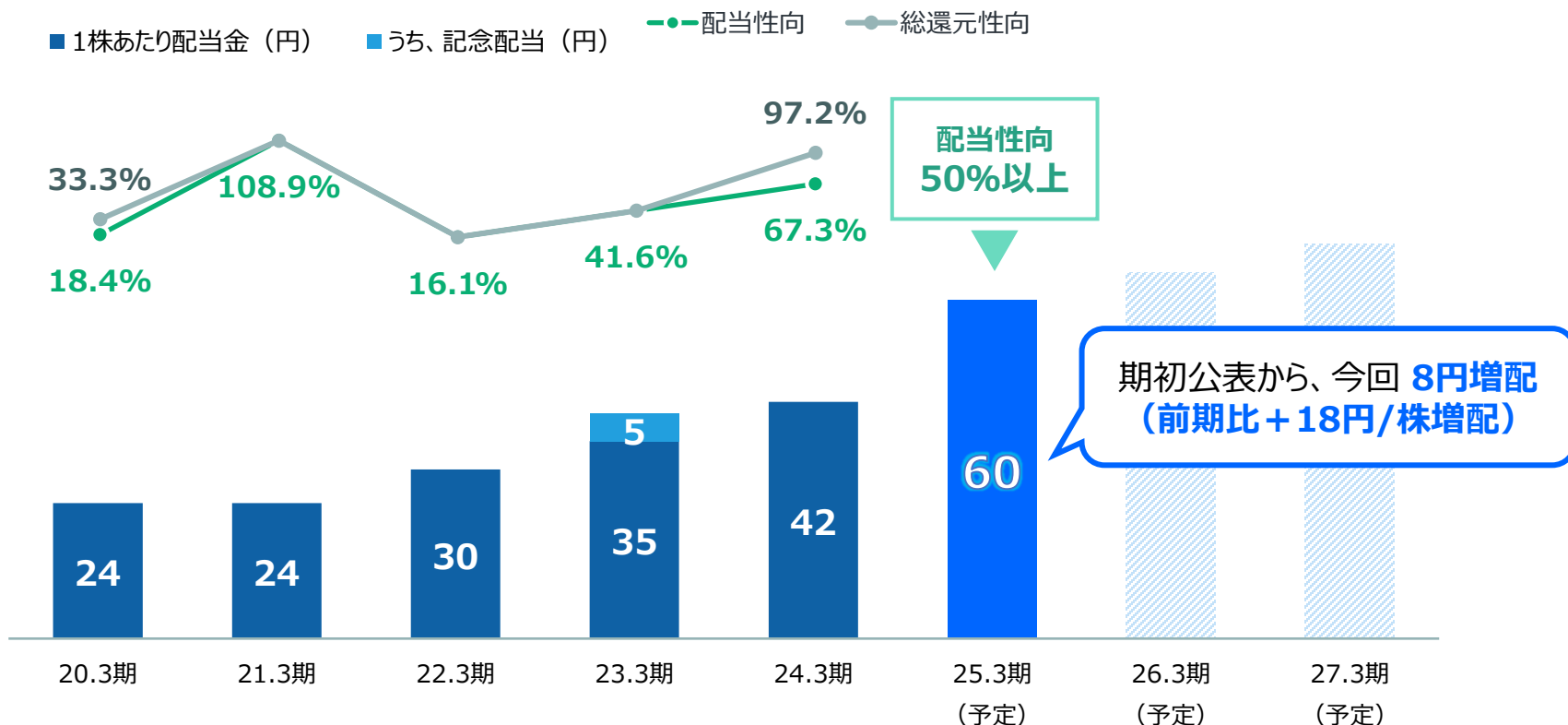


■ 水環境 ■ 産業 ■ その他



株主還元の拡充

- 2025年3月期については、**配当性向 50%以上**を株主還元の目標として設定
(中期経営計画の目標としては、総還元性向 50%以上、配当性向 40%以上)
- 配当性向および業績予想の情報修正を踏まえ、期末配当を26円から34円へ **8円の増配** を決定 (前期比+18円/株)
上記決定により、25.3期は1株あたり **60円** へ増配(予定)
- 2024年12月、取得株式総数120万株、取得価額総額18億円 (上限) とする**自己株式取得**を公表



継続的な増配、機動的な自己株式の取得に努め、株主還元の拡充を目指す

※21.3期はプライミスの減損により配当性向は108.9% 減損を考慮しない利益を基準とした場合は約30%